前回の授業の最後、度重なる元寇により鎌倉幕府は勢力が衰えていった(武士による政治も終わるのか・・・)

　そこで！1333年、楠木正成と足利尊氏が鎌倉幕府を倒した！

建武の新政

楠木正成と足利尊氏が幕府を倒したあと、後醍醐天皇が新たな統治者となり、後醍醐天皇が行った貴族重視の政策である。　※ある意味、貴族や天皇中心の平安時代に戻ったといえる。

　しかしこの建武の新政、足利尊氏の地位が政府の中枢から離れており、不満を生んだ

その結果、足利尊氏は兵を使って後醍醐天皇を狙う。**ここから南北朝の動乱が始まる！！**

南北朝の動乱(約60年間)

足利に命を狙われた後醍醐天皇は吉野(南)に逃れ、足利尊氏は京都(北)に別の天皇を立てて、南(後醍醐天皇派)と北(足利尊氏派)に勢力が分かれた。 日本が南北朝の動乱開始！

※このころ、国司の権限を守護が吸収し、守護大名が現れる。

(‘ω’)思い出そう｛守護と地頭の役割って何だったっけ？｝

国司：国から派遣された役人で、中央から離れた地域でも政府の政策を実行する役割

郡司：国司のように任期制でなく、代々受け継ぐ世襲制。役割は税の徴収・保管や裁判。

室町幕府

南北に分かれていた勢力だったが、足利尊氏が征夷大将軍に出世し、南を無視して勝手に京都に幕府を作る。(南連中をほっといて先に北で幕府を作っちゃおう！)

その後、三代目将軍の足利義満が南北を統一した。　※義満によって、南北朝の動乱は終結

室町時代の海外事情

1. 元寇で二度日本に攻めてきた元(モンゴル民族)が衰え、漢民族が明(みん)を建国
2. 日明貿易：明が倭寇(朝鮮半島で略奪行為をする日本人の海賊集団)の取り締まりを求めたことをきっかけに始まった貿易。

※倭寇と正式の貿易船の」区別で勘合を用いたため勘合貿易ともいう

1. 李成桂が高麗を滅ぼし、朝鮮が建国される
2. 沖縄で琉球王国が建国される
3. 北海道(蝦夷地)でアイヌの人々が狩猟や交易を行っていた

室町時代の産業

1. 運送業者(馬を使う馬借・船を使う問)
2. 金融業者(土倉・酒屋)

土倉：担保として入れられた物に見合う金額のお金を高利で貸し付ける

酒屋：ただの酒場だけど収入が高いため、お金を高利で貸し付け始める。

1. 座が活躍(商工業者や芸能者による同業者組合で、寺や貴族に賄賂を払い、市場を独占した)
2. 惣：団結した農民集団のこと。惣は税の免除などを要求して土一揆(反乱)を起こす

室町時代の文化

1. 北山文化：義満の頃の、公家と武士の文化が融合した文化

・足利義満が建てた金閣。

・観阿弥と世阿弥が能楽：のうらく(謡と囃子を伴奏に舞踊的な所作でストーリーが展開する歌舞劇)を作る。

・能楽では、民衆の生活・感情を表した狂言が行われる。

・絵入りの物語の、御伽草子が流行る。

1. 東山文化：足利義政の頃の、簡素で気品の高い文化

・足利義政が建てた銀閣。たたみや障子を使った書院造。雪舟の水墨画が有名

応仁の乱(1467~1477)

国司の権限を吸収した守護(守護大名)同士が、当時の将軍足利義政の後継者争いとして起こった戦い　※この後継者争いをきっかけに、守護大名同士が争う時代に突入

戦国時代(約100年間)

1. 守護大名同士が後継者と領土獲得を争う長い戦乱の時代。下剋上(身分の低い者が、守護大名を倒して大名になる風潮)の中、大名は戦国大名と呼ばれるようになる。
2. 戦国大名同士の争いが絶えない中、分国法が定められる。

※分国法(戦国大名それぞれが支配した地域内での訴訟の公平性を確保するために制定した法令)　主に武士に向けて作られた法律です。

安土桃山時代(1573~1603)

信長の時代と秀吉の時代があるので、政策がごっちゃにならないよう注意！

* 1. 戦国時代で勝ち抜いた織田信長が室町幕府を滅ぼし、安土城を拠点として全国統一を進めた時代

・楽市楽座：税を免除したり、一部の同業者組合による独占を禁止した

・キリスト教の保護

・織田信長は本能寺の変にて、明智光秀に殺害される

* 1. 信長の家臣であった豊臣秀吉が、山崎の戦いにて明智光秀を殺害し復讐。大阪城を本拠地として、信長の跡を継ぐように天下統一を達成した時代。

・キリスト教の禁止(しかし海外との貿易は奨励)

・兵農分離：武士と百姓の身分の区別を明確にした！

・太閤検地：統一された測り方で田畑の面積や状態の良しあしを調べて、予想収穫量を石高(こくだか)で表す　※税を適正に回収するため

・刀狩：百姓や寺から武器を取り上げる　※百姓の反乱などを防ぐため

安土桃山時代の文化

南蛮文化：ヨーロッパとの貿易(南蛮貿易)を行ったため、南蛮文化が根付く。(洋風な服や技術)

桃山文化：大名や豪商を中心とする雄大で豪華な文化

　　　　　　　　　　　↑

　　　　　この文章だけで、桃山文化と結びつくように覚えましょう！

桃山文化における代表的な人物

狩野永徳と山楽：屏風絵(びょうぶえ)

千利休：わび茶の作法

出雲阿国(いずものおくに)：歌舞伎踊り

しかし安土桃山時代は、朝鮮の明を征服しようと大軍を派遣したが失敗し、さらに秀吉が病死したことで衰退していく・・・

ヨーロッパ人の来航

1. イスラム帝国：ムハンマドがイスラム教を開く➔そしてイスラム教徒が作った大帝国がイスラム帝国
2. ローマ教皇：カトリック教会の上に立ち、大きな権力を持つ。　11世紀にキリスト教の聖地エルサレムをイスラム教の支配から奪還するため、十字軍の派遣を行った
3. ルネサンス：14世紀にイタリアで始まったギリシャ・ローマの文芸復興運動

※この頃、キリスト教が猛威を振るい、キリスト教会中心の文芸が強制されており、人間らしさを求めた人々によって起こった運動

1. 宗教改革：カトリック教会の腐敗を批判し、ルターとカルヴァンらが起こした運動。カトリック教会内でも腐敗からの脱却を目指し、イエズス会が結成される。
2. フランシスコ・ザビエル：イエズス会の一員であり、日本にキリスト教を布教した
3. 大航海時代：ポルトガルはバスコ・ダ・ガマを派遣し、アフリカ南岸を通ってインドへ

　　　　　　スペインはコロンブスを派遣し、アメリカ大陸へ

　　　　　　スペインはマゼランを派遣し、世界一周